

製品名: FOXO3A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83695**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.39mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 71 kDa ; Observed MW: 90 kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXO3A
別名	Forkhead box protein O3; AF6q21 protein; Forkhead in rhabdomyosarcoma-like 1; FOXO3; FKHL1; FOXO3A;FOXO3A
遺伝子 ID	
SwissProt ID	O43524
免疫原	ヒト FOXO3A 由来の合成ペプチド

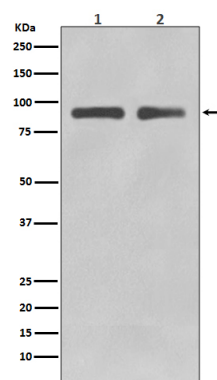
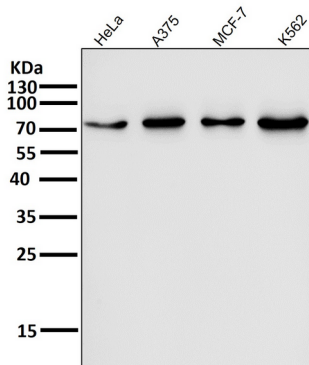
背景

DNA 配列 5'-[AG]TAAA[TC]A-3' を認識して結合し、アポトーシスやオートファジーなどのさまざまなプロセスを制御する転写活性化因子。骨格筋におけるオートファジーの正の調節因子として作用：飢餓細胞では、脱リン酸化後に核に入り、GABARAP1L、MAP1LC3B、ATG12 などのオートファジー遺伝子のプロモーターに結合してそれらの発現を活性化し、骨格筋タンパク質のタンパク質分解を引き起こします。酸化ストレスによる神経細胞死など、生存因子がない場合にアポトーシスを誘発します。MYC の転写後制御に関与：MAPKAPK5 によるリン酸化後、MYC 転写産物の 3'UTR に結合する MYC の 2 つの転写後制御因子である miR-34b および miR-34c の発現誘導を促進します。代謝ストレスに反応してミトコンドリアに移行し、mtDNA の転写を促進します (PubMed:23283301)。代謝ストレスに反応してミトコンドリアに移行し、mtDNA の転写を促進します。また、脂質の利用可能性に応じて骨格前駆細胞の軟骨形成コミットメントの重要な調節因子としても機能します。脂質レベルが低い場合、核に移行し、軟骨形成コミットメントを誘導し、脂肪酸の酸化を抑制する SOX9 の発現を促進します (類似性による)。また、FOXP3 の発現を活性化することにより、制御性 T 細胞 (Treg) の分化の重要な調節因子としても機能します (PubMed:30513302)。

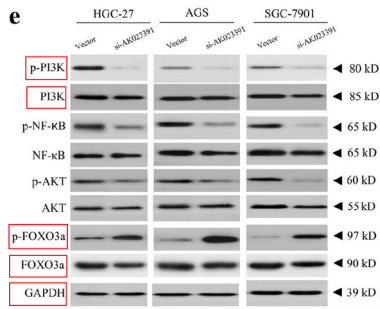
研究分野

画像データ

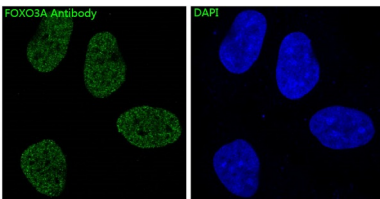
すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



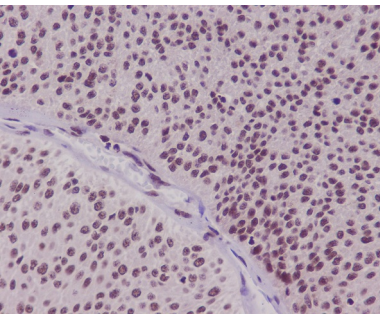
(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) SH-SY5Y 細胞溶解物中の FoxO3a のウエスタンブロット解析。



LncRNA AK023391 は、PI3K/Akt シグナル伝達経路の活性化を介して胃癌の腫瘍形成と浸潤を促進する。-実験・臨床癌研究ジャーナル



FoxO3a 抗体を使用した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。



FoxO3a 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌の免疫組織化学分析。